

尿路結石（経尿道的結石破砕術）



市立大津市民病院では、低侵襲で効率的治療が可能な経尿道的結石破砕術（TUL）を年間 83 症例施行しています。手術件数が県内でも特に多いことが特徴です。

当院では毎年経尿道的結石破砕術（TUL）、体外衝撃波結石破砕術（ESWL）とも約 100 例施行しています。低侵襲で効率的治療が可能な経尿道的結石破砕術（TUL）の手術件数が県内でも特に多いことが特徴です。



TUL 術中写真：

軟性尿管鏡とレーザーシステムを用いて低侵襲で効率的に尿管結石を破砕しています

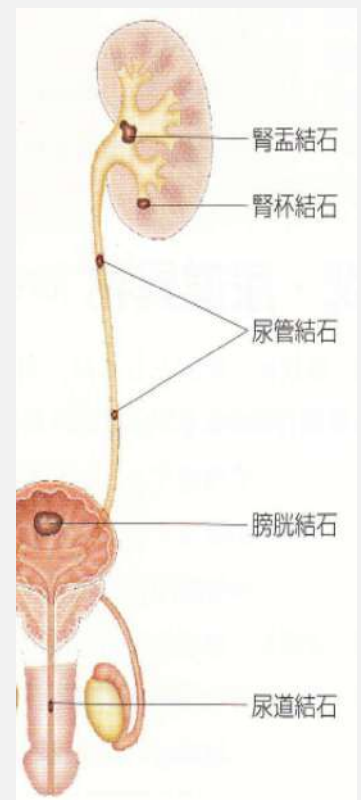
尿路結石症とは

上部尿路（腎臓・尿管）、下部尿路（膀胱・尿道）に存在する結石を総称して尿路結石といいます。男女比は 2.4:1 で男性に多く、2005 年の調査では男性の 7 人に 1 人、女性の 15 人に 1 人が一生に一度は罹患する疾患と報告されました。現在も増加傾向で食生活の欧米化・高齢化・診断技術の向上などが原因として考えられています。

腎臓内部に小さな結石が存在しているのみでは無症状もしくは血尿を認めるのみですが、尿管に嵌頓した場合は尿の流れが阻害されることから、背部～脇腹や下腹部にかけての激痛を生じることが多いとされます。

特に長期嵌頓尿管結石、腎盂内を占拠する巨大なサンゴ状結石は放置していた場合腎機能悪化や重症感染症を生じることがあります。

結石の大きさ、位置によって治療方針が様々なため、検査は尿検査／超音波検査／X線検査／排泄性腎盂尿管造影検査／CT検査などを行います。





たちにお任せください



結石以外のことも
 気になることがございましたら
 私たちにご相談ください

おおよその入院期間と費用について

手術名称	入院期間	点数	3割負担の方の概算費用 (限度額適用なしの場合)
経尿道的尿路結石 除去術（レーザー）	7～9日間 程度	60,000～70,000点程度	18～21万円程度

概算は、限度額を適応していない金額です。

※70歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約370万～770万円)の方で10万円前後です。

※70歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で57,600円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。